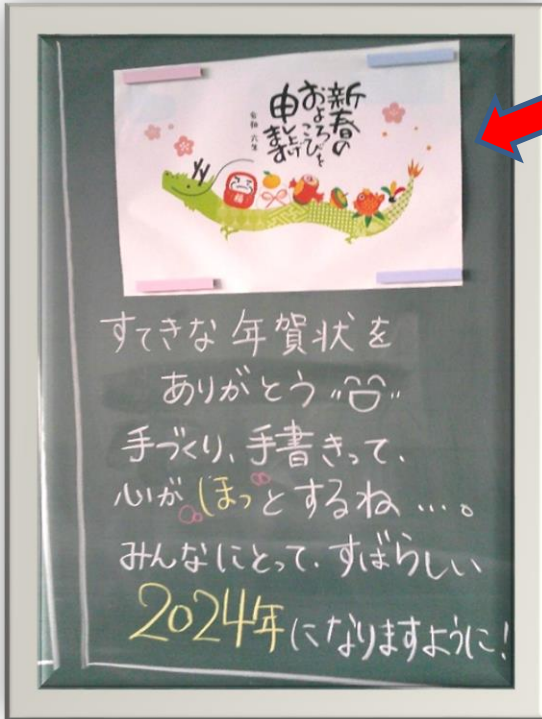


担任の先生に手作りの年賀状を作成し届けた特別支援学級の子たち。お返しの年賀状が黒板日記の形で届いていました。

見事な龍の絵が黒板いっぱい描かれた教室がありました。担任の先生に聞くと、「願いよ、叶えという気持ちをこめて、4時間かけて描きました」と照れながら教えてくれました。



3学期初日。とても良い表情で登校してくる子が多かったです。元気のよい挨拶もたくさんいただきました。始業式の校長式辞では、主に以下のような話をしました。

- ・3学期は総まとめの学期。3年は9年間の仕上げを、2年はまずは目前のスキー教室で成長を、1年は積極的に挑戦を。
- ・「ジャンプ」するためにとくに「東中しぐさ」の「**集中！無言清掃**」を**重点に置こう**。掃除は心を磨く時間。集中力や自己をコントロールする力を付けるためにも大事にしよう。
- ・能登半島地震を自分事として捉え、様々な場面での地震対応を想定しよう。例えば**登下校中に震度7の地震が来たらどうする？**命を守る、あきらめない、などの意識を強く持とう。
- ・学校宛ての年賀状のなかに東部中をほめていただいたものがあった。また、お正月の地方新聞で、活躍されている方の抱負の中に、「東中しぐさ」に触れていただいたものもあった。今年も誠実で社会に貢献する東中生を目指していこう。

黙々と掃除をする姿でスタートできました。校舎はうれしくてピカピカです。